

# 投資・資産運用



## (i) はじめに

日本ではお金についての教育はほとんどされない。しかし、アメリカでは高校生の段階からお金のことを学ぶ。「貯金をしよう!」とか「株のしくみ」のような話ではなく、ローン(借金)や金融詐欺、税金、契約など、「社会に出た後、どのように人生を作っていくか」に関わることを超現実的に教育されるそうだ。数か月後には社会に出る皆さんへ、少しでもお金にまつわる教育を少しでもできればと思い、この単元を作成しました。将来必要となるときに備えができるよう、資産形成について学んでいきましょう。

## (ii) 金融商品の種類

**資産形成**とは、将来必要となる資金やいざという時の備えとなる資金を作っていくこと。どのようにお金を動かしていくかを知るためには、**金融商品**の特徴を理解しなければならない。目的に合わせ必要な投資を行えるようになるろう。

安全性…資産を安全に守れるか / 収益性…利益が見込めるか / 流動性…すぐに引き出せる状態か

金融商品の種類	特 徴	安全性	収益性	流動性
1	<p><u>銀行などの金融機関にお金を預けること</u></p> <p>○絶対に減らない安心感</p> <p>○[ ]万円までなら、銀行が倒産しても必ず戻る</p> <p>×</p>			
2	<p><u>国や地方公共団体、会社などがする借金を買う(国債・社債など)</u></p> <p>○決められた期限に利子を加えて返金される</p> <p>△万が一、企業などが倒産した場合は返金されない場合も</p> <p>×</p>			
3	<p><u>株式会社が資金を集めるために発行する株へ投資</u></p> <p>○価格は日々変動するため、[ ]の期待は大きい</p> <p>○配当金や[ ]を受け取れる</p> <p>×</p> <p>×</p>			
4	<p><u>投資の専門家が資産運用を行い、その成果を分配する商品</u></p> <p>○少額でも投資ができる。月1万のような定額投資も可。</p> <p>○</p> <p>△商品によっては[ ]が高かったり、</p> <p>[ ]が低い商品もあるため、見極めが必要。</p>			

株式よりは○

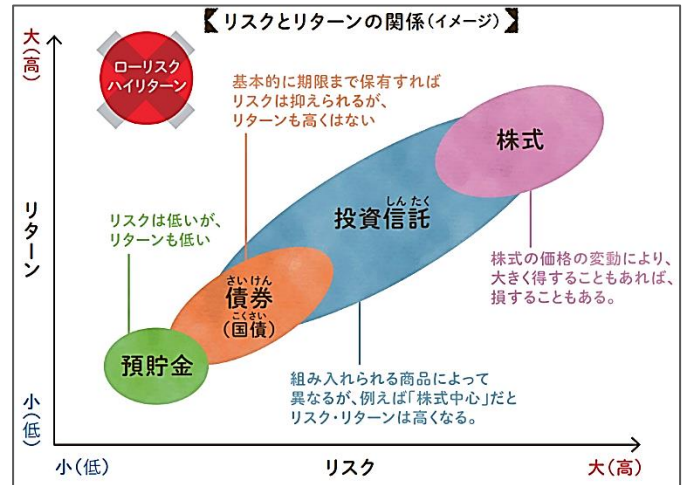
## ★その他の金融商品

- ・<sup>[5]</sup> …外国為替という意味で、異なる国の通貨を交換することで利益を目指すもの。  
動かす金額が多いうえ、レートが激しく増減するため、ハイリスクハイリターンの投資となる。  
ギャンブル的な要素もあり、おすすめはできない。
- ・**仮想通貨**<sup>[6]</sup> …ビットコインなどが有名。株式などと同様、価値が上下する差額で利益を目指す。  
ただし、これも究極に価格増減が激しく、ハイリスクハイリターンである。

## (iii) 投資のポイント

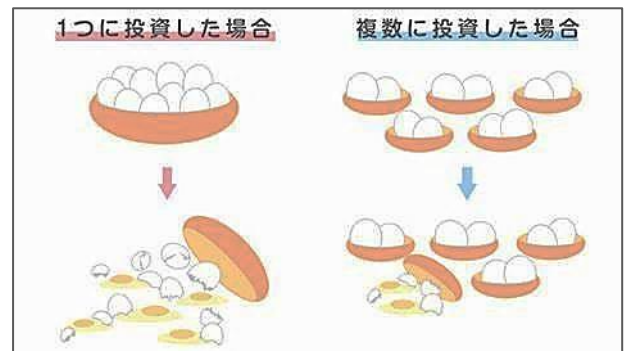
### (1) リスクとリターン

運用の世界では、**リターン**とは運用の結果期待できる成果（収益 or 損失）のことをいい、**リスク**とは、リターンを受ける際の値動きの振れ幅のことをいう。リスクを抑えようとすれば、当然リターンは小さくなり、逆も同じことが言える。ローリスクハイリターンのような美味しい話は無い。あれば詐欺に近いものなので、注意。



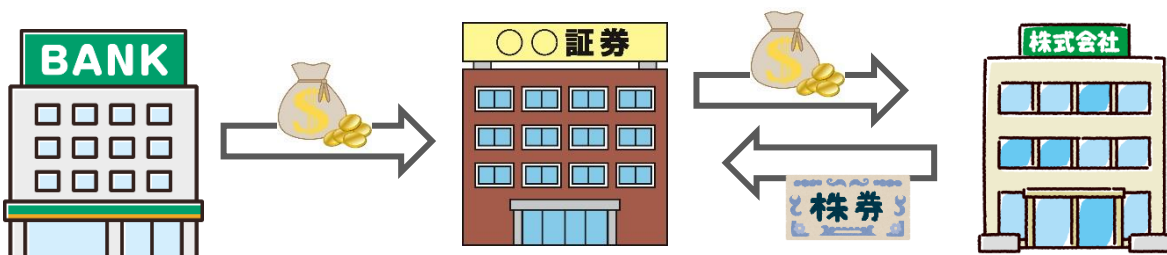
### (ii) 分散投資

漢字の通り、「分けて投資」すること。例えば金融商品自体を様々な種類に分散させたり、投資する国を分散させるなど分け方は様々である。1つのものに集中すると、万が一失敗した場合に大きな損失となってしまうので、リスクを分けて投資しようということ。卵のたとえ話が有名なので図を載せておきます。人生における大切なお金だからこそ、分散投資することでリスクを減らすことが重要である。



### 《初心者向けの投資方法》

まずそもそも投資をするための準備の話からします。株式や投資信託などの商品を購入するためには、「証券口座」を開設する必要があります。簡単に言えば、株式や投資信託を買う時に、お金の出し入れをする場所のこと。株や債券は、銀行やスーパーで直接買えるものではないので、自分の証券口座を開設しよう。



早速ハードルの高い話と思うかもしれないが、ここが最初にして最大の山場。現在は、銀行も証券会社もネットで開設可能なので、特別どこかへ行ったり、手数料がかかったりする心配はない。ネット銀行とネット証券会社を同じ会社で申し込むと、アプリ上でお金の移動を簡単にできるのでおすすめ。

【有名なネット金融機関の例】SBI 銀行⇔SBI 証券、楽天銀行⇔楽天証券など



投資に興味が無くても、ネット銀行は一つあれば便利だと思うので、社会人になったら作るもいいかもしれません。コンビニのATMに対応しているし、月に数回は手数料がかからないので、気軽にお金の出し入れができます。

### (iii) NISA・iDeCoの活用

個人の資産形成を支援するために国が税金を優遇している制度が「NISA」と「iDeCo」です。

NISA（ニーサ）は少額投資非課税制度、iDeCo（イデコ）は個人型確定拠出年金の愛称となっています。

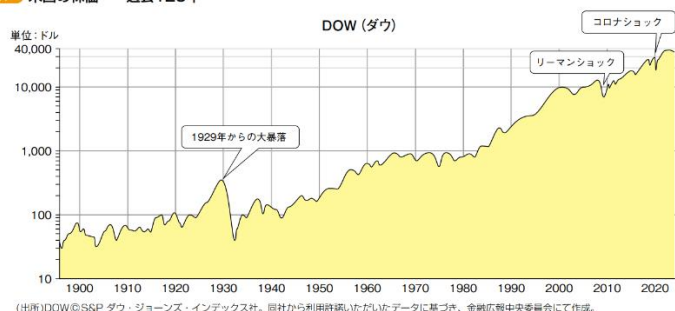
資産運用のために投資を行うと、手数料や税金などの「コスト」がかかります。例えば日本では、株の売買で収益が出た場合には約20%の税金を支払わなければならない。NISAではこの税金が免除になります。

iDeCoは老後に年金として受け取るために、60～65歳まではお金を運用することを想定したしくみであり、60歳までは基本的に引き出すことが出来ない。自力で用意する年金のようなイメージです。

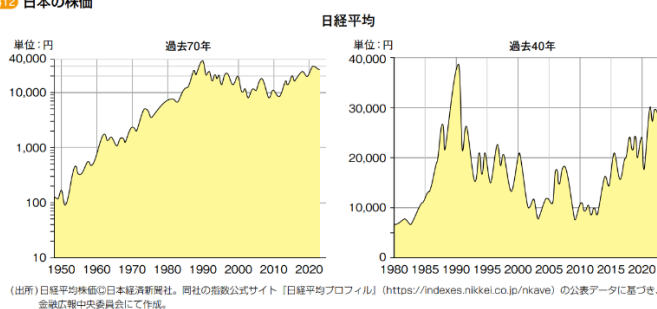
一方NISAは、お金を長期間積み立てながら運用するつみたてNISAや、個別株を購入できる一般NISAが含まれているが、2024年からこの枠が拡大し、これまでより多くの投資で非課税の恩恵が受けられるようになる。

このような制度を活用し、コストを抑えながら投資を行える環境が整ってきている。

資料11 米国の株価 ～過去120年



資料12 日本の株価



### (iv) まとめ

貯めたいお金が来月すぐ必要なのか、自分の老後に必要なのか、どの程度自由に使っていいお金なのかなど、それぞれの目的に合わせて投資することが大切です。「この金融商品が絶対いい!」というものは存在せず、それぞれのメリット・デメリットを理解したうえで選択していくことが必要になります。

参考文献 ▶本当の自由が手に入るお金の大学 両@リベ大学長（リベラルアーツ）朝日出版

▶金融クエスト(5)将来の為に資金を運用しよう 証券知識普及プロジェクト

▶これであなともひとり立ち 金融広報中央委員会

[ ]年 [ ]組 [ ]番 名前[ ]



# 投資・資産運用



## (i) はじめに

日本ではお金についての教育はほとんどされない。しかし、アメリカでは高校生の段階からお金のことを学ぶ。「貯金をしよう!」とか「株のしくみ」のような話ではなく、ローン(借金)や金融詐欺、税金、契約など、「社会に出た後、どのように人生を作っていくか」に関わることを超現実的に教育されるそうだ。数か月後には社会に出る皆さんへ、少しでもお金にまつわる教育を少しでもできればと思い、この単元を作成しました。将来必要となるときに備えができるよう、資産形成について学んでいきましょう。

## (ii) 金融商品の種類

**資産形成**とは、将来必要となる資金やいざという時の備えとなる資金を作っていくこと。どのようにお金を動かしていくかを知るためには、**金融商品**の特徴を理解しなければならない。目的に合わせ必要な投資を行えるようになるろう。

安全性…資産を安全に守れるか / 収益性…利益が見込めるか / 流動性…すぐに引き出せる状態か

金融商品の種類	特 徴	安全性	収益性	流動性
1 <b>預金</b>	<u>銀行などの金融機関にお金を預けること</u> ○絶対に減らない安心感 ○[1000]万円までなら、銀行が倒産しても必ず戻る ×増えることはほぼ無い ex)普通預金金利 0.001%	◎	×	◎
2 <b>債券</b>	<u>国や地方公共団体、会社などがする借金を買う(国債・社債など)</u> ○決められた期限に利子を加えて返金される △万が一、企業などが倒産した場合は返金されない場合も ×自分のタイミングで引き出すことが出来ない	○	△	×
3 <b>株式</b>	<u>株式会社が資金を集めるために発行する株へ投資</u> ○価格は日々変動するため、[利益]の期待は大きい ○配当金や[株主優待]を受け取れる ×暴落のリスクがあり、最悪の場合0になることもある ×損をしている状態だと売却しにくい	△	◎	△
4 <b>投資信託</b>	<u>投資の専門家が資産運用を行い、その成果を分配する商品</u> ○少額でも投資ができる。月1万のような定額投資も可。 ○多くの会社に投資をするのでリスクを分散できる △商品によっては[手数料]が高かったり、 [安全性]が低い商品もあるため、見極めが必要。	△ <small>株式よりは○</small>	○	△

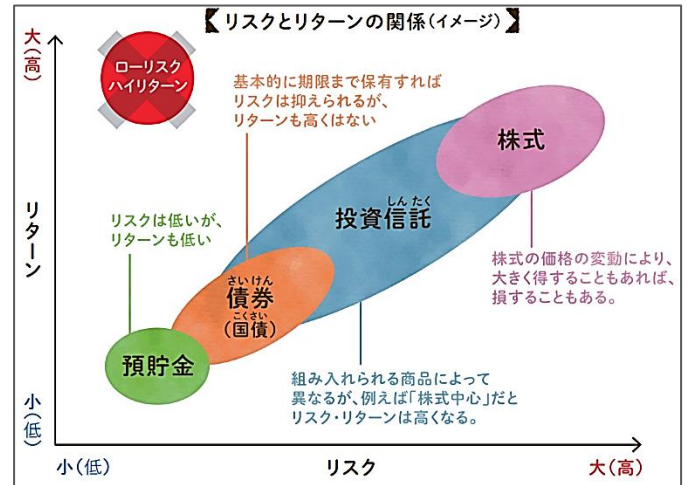
## ★その他の金融商品

- ・ [ <sup>5</sup> **FX** ] …外国為替という意味で、異なる国の通貨を交換することで利益を目指すもの。  
動かし金額が多いうえ、レートが激しく増減するため、ハイリスクハイリターンの投資となる。  
ギャンブル的な要素もあり、おすすめはできない。
- ・ 仮想通貨 ( [ <sup>6</sup> **暗号資産** ] ) …ビットコインなどが有名。株式などと同様、価値が上下する差額で利益を目指す。  
ただし、これも究極に価格増減が激しく、ハイリスクハイリターンである。

## (iii) 投資のポイント

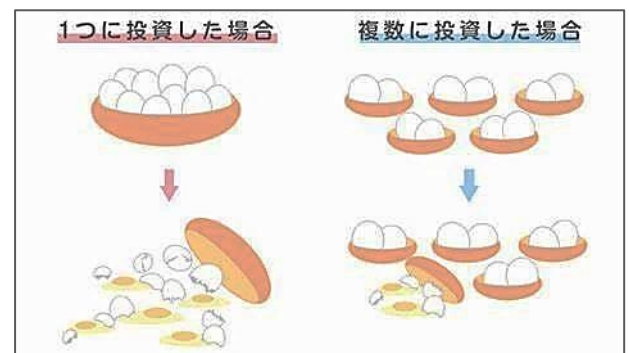
### (1) リスクとリターン

運用の世界では、**リターン**とは運用の結果期待できる成果（収益 or 損失）のことをいい、**リスク**とは、リターンを受ける際の値動きの振れ幅のことをいう。リスクを抑えようとすれば、当然リターンは小さくなり、逆も同じことが言える。ローリスクハイリターンのような美味しい話は無い。あれば詐欺に近いものなので、注意。



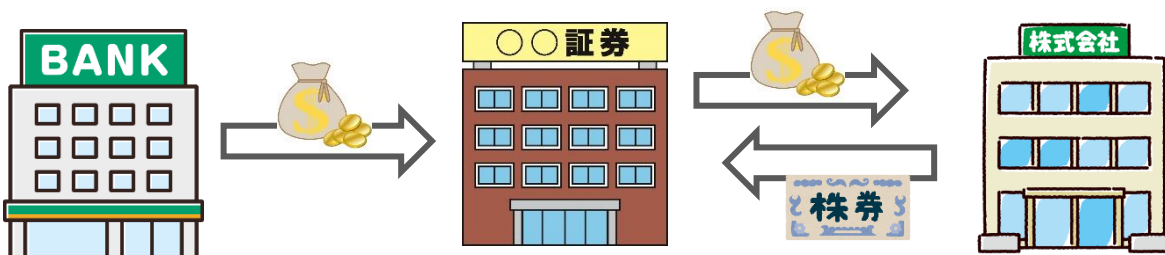
### (ii) 分散投資

漢字の通り、「分けて投資」すること。例えば金融商品自体を様々な種類に分散させたり、投資する国を分散させるなど分け方は様々である。1つのものに集中すると、万が一失敗した場合に大きな損失となってしまうので、リスクを分けて投資しようということ。卵のたとえ話が有名なので図を載せておきます。人生における大切なお金だからこそ、分散投資することでリスクを減らすことが重要である。



### 《初心者向けの投資方法》

まずそもそも投資をするための準備の話からします。株式や投資信託などの商品を購入するためには、「証券口座」を開設する必要があります。簡単に言えば、株式や投資信託を買う時に、お金の出し入れをする場所のこと。株や債券は、銀行やスーパーで直接買えるものではないので、自分の証券口座を開設しよう。



早速ハードルの高い話と思うかもしれないが、ここが最初にして最大の山場。現在は、銀行も証券会社もネットで開設可能なので、特別どこかへ行ったり、手数料がかかったりする心配はない。ネット銀行とネット証券会社を同じ会社で申し込むと、アプリ上でお金の移動を簡単にできるのでおすすめ。

【有名なネット金融機関の例】SBI 銀行⇔SBI 証券、楽天銀行⇔楽天証券など



投資に興味が無くても、ネット銀行は一つあれば便利だと思うので、社会人になったら作るもいいかもしれません。コンビニのATMに対応しているし、月に数回は手数料がかからないので、気軽にお金の出し入れができます。

### (iii) NISA・iDeCoの活用

個人の資産形成を支援するために国が税金を優遇している制度が「NISA」と「iDeCo」です。

NISA（ニーサ）は少額投資非課税制度、iDeCo（イデコ）は個人型確定拠出年金の愛称となっています。

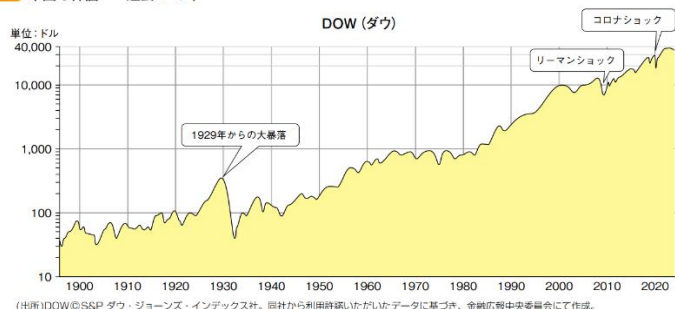
資産運用のために投資を行うと、手数料や税金などの「コスト」がかかります。例えば日本では、株の売買で収益が出た場合には約20%の税金を支払わなければならない。NISAではこの税金が免除になります。

iDeCoは老後に年金として受け取るために、60～65歳まではお金を運用することを想定したしくみであり、60歳までは基本的に引き出すことが出来ない。自力で用意する年金のようなイメージです。

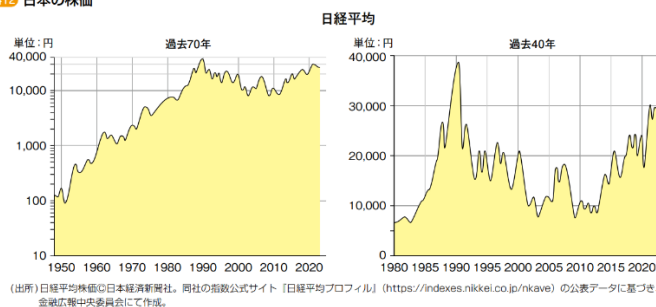
一方NISAは、お金を長期間積み立てながら運用するつみたてNISAや、個別株を購入できる一般NISAが含まれているが、2024年からこの枠が拡大し、これまでより多くの投資で非課税の恩恵が受けられるようになる。

このような制度を活用し、コストを抑えながら投資を行える環境が整ってきている。

資料11 米国の株価 ～過去120年



資料12 日本の株価



### (iv) まとめ

貯めたいお金が来月すぐ必要なのか、自分の老後に必要なのか、どの程度自由に使っていいお金なのかなど、それぞれの目的に合わせて投資することが大切です。「この金融商品が絶対いい!」というものは存在せず、それぞれのメリット・デメリットを理解したうえで選択していくことが必要になります。

参考文献 ▶本当の自由が手に入るお金の大学 両@リベ大学長（リベラルアーツ）朝日出版

▶金融クエスト(5)将来の為に資金を運用しよう 証券知識普及プロジェクト

▶これであなともひとり立ち 金融広報中央委員会

[ ]年 [ ]組 [ ]番 名前[ ]

